

1. 「一つの花」の解釈

○中心人物…お父さん

○⑩段落のお父さんが深いため息をついて言った会話文に着目

- ・「この子は、一生、みんなちょうだい、(以下省略)」の「一生」とは？
- ・「一つだけのよろこびさ。」の「よろこび」とは？
- ・「いや、よろこびなんて一つだってもらえないかもしれないんだね。」とはどういうことか？

○4 場面でお父さんがぶいといなくなった時はいつからか？

- ・①⑨段落と②⑩段落のお父さんとお母さんの会話文に着目
- ・「ええ、もう食べちゃったんですのー。ゆみちゃん、いいわねえ。お父ちゃん、兵隊ちゃんになるんだって。ばんざあいってー。」のお母さんの会話文から、お母さんの様子に着目
→その時のお母さんの気持ちになって、声に出して読んでみる(→お母さんの様子の変化に気づく)
→「ええ、もう食べちゃったんですのー。」…がっかりした様子
「ゆみちゃん、いいわねえ。お父ちゃん、兵隊ちゃんになるんだって。ばんざあいってー。」
…パニックになった様子

○②⑥段落の「お父さんは、それを見てにっこりわらうと、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまいました。」の文に着目

- ・「それ」…前文のゆみ子が喜んだ姿
- ・「何も言わずに」とあるが、普通だったら、ゆみ子やお母さんに何か言うはず…
■ ゆみ子が笑顔になること＝ゆみ子の泣き顔をお父さんとの最期の別れになるかもしれないこの瞬間にお父さんに見せたくないというお母さんの願い＝お父さんの願い(＝にっこりわらう)

○④⑭段落の「大事なお米で作ったおにぎり」に着目

- ・そのおにぎりは、お父さんのためのものか？ゆみ子のためのおにぎりか？

2. 次回の予定

・今回の解釈を基に、自分たちで授業構想を考えておく。

前回からのサークルの課題

- ・…一部分を取り上げて問題を作るのではなく、その問題が全体とどうつながっているかを意識すること。
問題と問題の関係を構造化して考えていくことを常に。